

紫野の、紫のゆかり

2025 年 12 月 18 日

一般社団法人 紫草

- 1, 紫野とは、古代の染料植物（ ）にゆかりの地名です。
- 2, 603 年に、（ ）により、紫色は一位～三位の位の人が着用を許される色に制定されました。
- 3, 第 45 代の（ ）が紫草を珍重したのは、
（ ）
（ ）
（ ）
のトリプルパンチが襲ったからです。
- 4, 聖武天皇は、（ ）により、741 年に（ ）
743 年に（ ）を発令しました。
- 5, 国分寺には（ ）が納められました。
- 6, 国分寺の総本山は（ ）で、国中の金や銅、炭や薪を集め、国家プロジェクトとして全国民の（ ）のうち、（ ）が動員されました。
- 7, 紫草は、（ ）として、（ ）が栽培を課せられていました。
- 8, 紫草の国内シェアは（ ）が締めており、（ ）に集められた紫草は、専用の役人である（ ）によって、都まで運ばれました。
- 9, 紫草の栽培管理のために、（ ）が年 3 回も視察に来ていました。
- 10, 紫草は、現在環境省の（ ）に指定されています。
- 11, 737 年（ ）が誕生し、794 年に（ ）に遷都しました。
- 12, 桓武天皇の皇子（ ）は、（ ）を登用し、紫野に離宮をつくりました。
- 13, 雲林院では、（ ）が（ ）を隨身に、漢詩や管弦の遊びをしました。
- 14, 894 年の菅原道真による（ ）奏上により、（ ）が開花しました。
- 15, 901 年、（ ）により、菅原道真が（ ）に左遷されました。
- 16, 927 年に（ ）が編纂され、紫草の染織材料が書き残されました。
- 17, 11 年続いた（ ）により、平安時代の染織品が灰燼に帰しました。
- 18, 戦国武将も紫の染織品を着用していました。1729 年 8 代将軍吉宗が（ ）を編纂し、紫草の染織方法が後の世まで伝わりました。

答え

1. 紫野とは、古代の染料植物（紫草）にゆかりの地名です。
2. 603年に、（冠位十二階）により、紫色は一位～三位の位の人が着用を許される色に制定されました。
3. 第45代の（聖武天皇）が紫草を珍重したのは、（大地震）（噴火）（パンデミック）のトリプルパンチが襲ったからです。
4. 聖武天皇は、（鎮護国家思想）により、741年に（国分寺・国分尼寺建立の詔）743年に（大仏建立の詔）を発令しました。
5. 国分寺には（紫紙金字金光明最勝王經）が納められました。
6. 国分寺の総本山は（東大寺）で、国中の金や銅、炭や薪を集め、国家プロジェクトとして全国民の（500万人）のうち、（260万人）が動員されました。
7. 紫草は、（調）として、（中男）が栽培を課せられていました。
8. 紫草の国内シェアは（九州）が締めており、（大宰府）に集められた紫草は、専用の役人である（紫草使）によって、都まで運ばれました。
9. 紫草の栽培管理のために、（国司）が年3回も視察に来ていました。
10. 紫草は、現在環境省の（絶滅危惧種）に指定されています。
11. 737年（桓武天皇）が誕生し、794年に（平安京）に遷都しました。
12. 桓武天皇の皇子（淳和天皇）は、（空海）を登用し、紫野に離宮をつくりました。
13. 雲林院では、（宇多天皇）が（菅原道真）を隨身に、漢詩や管弦の遊びをしました。
14. 894年の菅原道真による（遣唐使停止）奏上により、（国風文化）が開花しました。
15. 901年、（昌泰の変）により、菅原道真が（大宰府）に左遷されました。
16. 927年に（延喜式）が編纂され、紫草の染織材料が書き残されました。
17. 11年続いた（応仁の乱）により、平安時代の染織品が灰燼に帰しました。
18. 戦国武将も紫の染織品を着用していました。1729年8代将軍吉宗が（式内染鑑）を編纂し、紫草の染織方法が後の世まで伝わりました。

▼ salon & gallery 虹霓

〒603-8165 京都府京都市北区紫野西御所田町3-4-2 | 常設営業日：金曜 13時～17時

info@murasakisou.com | 一般社団法人紫草 野原佳代

今後の更新はnoteにて情報発信します。ぜひフォロー＆サポートをお願い致します。

